

全自動硬度計 早見表

軟化システム、ボイラ給水、冷却塔、RO膜、水処理、飲料水、プール

1

Sycon2802



全硬度、炭酸塩硬度を自動測定することができる分析装置

2

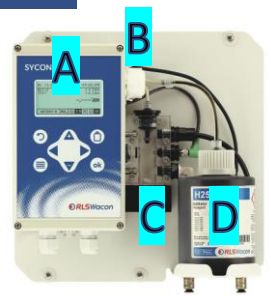
比色分析

測定試薬を添加し、発色強度を測定することで、濃度を測定する分析手法



3

デバイスの構成



- A: 制御部
- B: 薬注ポンプ
- C: 測定チャンバ
- D: 測定指示薬

4

特徴

1. 精度が高い、自動硬度計
2. 制限値の監視(2つ設定可能)
3. 全硬度、炭酸塩硬度の測定が可能(要試薬変更)
4. キャリブレーション不要
5. 薬品の寿命が長い

5

水質要件

水温:	5~40 ℃
pH:	4 ~ 10
鉄:	< 3 ppm
銅:	< 0.2 ppm
アルミニウム:	< 0.1 ppm
マンガン:	< 0.2 ppm
酸容量:	KS 4.3<5 mmol/L

水温が40℃以上の場合は、冷却器を使用

6

測定範囲

全硬度	炭酸塩硬度
0.214~534 ppm	5.34~400 ppm
0.012~30 °dH	0.3~22.5 °dH

精度確保のため、サンプル水の濃度が指示薬の測定範囲内に収まるように試薬を選択する必要があります。

7

メンテナンス

6ヶ月毎	・測定チャンバの洗浄
全30,000分析または2年間経過後	・測定チャンバの洗浄 ・消耗品の交換

メンテナンスは、**特殊工具不要**で簡単に分解、部品交換することができます。

8

メンテナンスキット



メンテナンスセット クリーニングセット
キットなので、簡単に発注・交換が可能です。

9

設置方法

